

プロジェクトアドベンチャー（PA）を活動プログラムに取り入れる場合の留意点

1 PAの教育効果を高めるために

花山でのPAの活動を通して、引率者がPAに対する理解や認識を深め、指導法を身につけていただき、花山での活動後も、日常の学校生活等の場において継続して取り組んでいただくことが、PAの教育効果をより高めるものになると考えます。

また、宮城県教育委員会が主催しているMAP講習会への参加も推奨しております。

2 講師を依頼する場合

- ① 利用日1ヶ月前に、利用申込書を提出する際に、講師依頼の欄に「PA講師〇名依頼」とご記入ください。安全管理上15名に1名のファシリテーターが必要ですが、ねらいにあわせて（クラス1名等）依頼してください。
- ② 利用団体からの講師依頼を受け、必要な講師の人数確保に努め、その結果について利用団体に連絡します。
- ③ 講師の確保ができた場合、こちらから「プロジェクトアドベンチャー（PA）講師依頼」と「PA活動計画案」を送付いたします。ご記入後、速やかに返信をお願いいたします。
- ④ 講師が確保できた場合は、PAを活動プログラムに取り入れることができます。確保できなかった場合は、別のプログラムを検討していただきます。
※人数が多い団体（100人以上）や、同日に利用する団体が多いときは、活動場所の関係でPAを活動プログラムに取り入れることができない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- ⑤ 荒天時の予備プログラムとして実施することはできません。
- ⑥ 平成29年度から講師謝金が、下記のとおり料金改定となります。
※講師1人1回当たり （3時間迄） 6,600円を負担していただきます。
（4時間迄） 8,800円を負担していただきます。
(注) 活動開始30分前から行う事前打ち合わせ及び準備の時間も、上記時間を含みます。

3 PAの実施について

- ① 利用団体が入所後、PAの活動30分前に「PA活動計画案」をもとに、利用団体と講師との打ち合わせを行います。
- ② 利用団体の中に、PAを指導できる方がいる場合は、指導者として一緒に活動していただくことも可能です。
- ③ PAの指導中は、引率者も一緒に活動に入ったり、集団を見守ったりしていただきます。
- ④ PAの活動終了後、利用団体で活動についての「ふりかえり」を行うとより効果的です。

※利用団体が講師依頼をせずに独自でPAを指導する場合、活動に必要なPAグッズの使用やエレメントの使用も、職員の説明後使用可能ですので、事前にご相談ください。